

# 自己点検・自己評価報告書

2023年4月14日現在

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校

2023年4月1日作成

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

| 評価項目   | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1 |  |
|--|------------------------------|--|
| 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか                      | 4                            | 専門職としての深い知識・技術の習得にとどまらず、社会に貢献する医療福祉人材の育成するという理念を定め、学校パンフレット・HPに掲載し、外部への発信をしている。                        |
| 学校における職業教育の特色は何か                             | 3                            | 各学科とも実務経験を積んだ専任教員を中心に、各業界との連携を重視し、理論と実践のバランスのとれた教育を実施している。各業界の現場で活躍する非常勤講師を豊富に揃え、学生に適切な現場実習の機会を提供している。 |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。                | 3                            | 10年後の将来を見据えた学校の将来構想を描いている。   |
| 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか    | 3                            | 教育理念・アドミッションポリシー等はホームページ、学生募集パンフレット等で開示している。   |
| 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 3                            | 関連業界等が求める知識・技術・人間性等人材要件を明確にし、教育課程・授業計画(シラバス)等の策定をする上で、教育課程編成委員会等を通じて、関連業界等からの協力を得ている。                  |

#### ①現状

学校の将来構想や「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」の周知はされているが、学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想等の周知は十分とは言えない。

#### ②今後の改善策

学校の将来構想が社会経済のニーズに合っているかについては、外部委員の意見を取り入れ、修正を図っていく。教育理念等の周知については、保護者会、配布物、インターネット等だけでなく、教職員による周知の機会も増やしていく。

#### (2) 学校運営

| 評価項目                                     | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1 |   |
|--|------------------------------|---|
| 目的等に沿った運営方針を定めているか                       | 4                            | 教育理念・目的を果たすため、厚生労働省の認可を受けた養成施設として、養成施設指定基準及び関連法規に基づき学校運営を行っている。年度毎の運営方針は本校の理念や関連業界や社会的な動向等を踏まえて定めている。 |
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか                    | 4                            | 法人室が策定し、経営会議を経て、理事会に事業計画を提出している。  |
| 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4                            | 学校運営方針に基づき、組織体制を整備し、具体的な活動計画を定め、実行している。   |
| 人事、給与に関する規程等は整備しているか                     | 4                            | 教職員の就業規則、給与規定を定めている。  |
| 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか           | 4                            | 教務運営では教務会議が、財務等は理事会が、最高意思決定機関として位置づけられ、各機関において意思決定システムを整備している。  |
| 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか          | 3                            | 学校評価委員会、教育課程編成委員会業界や地域社会へのコンプライアンス体制が整備されている。   |
| 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                 | 3                            | 学校ホームページにおいて教育活動の情報公開をしているが、公開内容については改善の余地があると考えている。  |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                | 3                            | 教務システムをはじめとした情報システム化を推進しており、業務の効率化を図っている。   |

①課題

情報システム化等の業務効率については、かなり改善がされてきているが、更なる改善が必要であると考えている。

②今後の改善策

令和5年度より新たな教務システムの導入を行うため、その機能を十分に活用していき、業務の効率化を促進していく。

(3)教育活動

| 評価項目  | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1 |   |
|---|------------------------------|---|
| 教育理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針が策定されているか                            | 4                            | 社会のニーズに沿った人材育成を行うことを教育理念と掲げ、各学科の養成施設指定規則に則って策定されている。                              |
| 教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4                            | 教育到達レベルや学習時間については「授業概要」(シラバス)の各科目の授業目標や授業計画に記載し、オリエンテーション及び各授業において明示している。         |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか                                     | 4                            | 社会のニーズに沿った人材育成を行うことを教育理念と掲げ、各学科の養成施設指定規則に則って体系的に編成している。                           |
| キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか           | 3                            | 各学科ごとに教育課程編成委員会を設置し、職業教育のあり方について外部委員の意見を取り入れている。                                  |
| 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか     | 4                            | 学外実習を通じて、実践的な職業教育が体系的に位置付けられている。  |
| 授業評価の実施・評価体制はあるか  | 4                            | 年2回の授業評価アンケートを実施し、教務課を通じ全教員へアンケート結果のフィードバックを行っている。                                |
| 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                                 | 3                            | 各学科ごとに教育課程編成委員会等において、外部委員の評価を受けている。   |
| 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                              | 4                            | 成績評価・単位認定等の基準は学則に基づき判定をしている。詳細については、年度始めのオリエンテーション時に学生便覧を配布し説明している。               |
| 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                        | 4                            | 取得目標としている資格・免許についてガイダンス等で説明している。資格・免許の取得のために必要な履修科目はカリキュラム学生便覧等に明記し、学生に周知している。    |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                     | 4                            | 養成施設指定規則に則り、資格要件を備えた教員を確保できている。   |
| 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか               | 4                            | 各学科の養成施設指定規則に規定された要件を満たす教員を採用している。また、特定の専攻分野においては、現役の施設長や保育園園長など関連業界等の経験者を採用している。 |
| 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか   | 3                            | 教員の専門性を向上させるため、関連業界・団体の研修に参加している。また、校内でも教員の指導力向上を目的とした研修を実施している。                  |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか                                      | 3                            | 職員に対する研修を毎年実施しているが、個々の状況に合わせて研修も必要であると考えている。                                      |

①課題

教職員の資質向上を図るため、校内での研修及び外部機関での研修を実施しているが、社会情勢の変化に対応できる教職員としての質の向上を図る必要がある。

②今後の改善策

教員の研修では、専門領域の知識・技術の習得のみならず、学生指導についての指導方法についても強化していく必要がある。

#### (4) 学修成果

| 評価項目                                  | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1 |   |
|---------------------------------------|------------------------------|---|
| 就職率の向上が図られているか                        | 4                            | 教員とキャリア支援課が連携し、就職ガイダンスの開催や個別指導を通じて就職率の向上を図っている。                       |
| 資格取得率の向上が図られているか                      | 4                            | 国家試験対策を強化したことで、介護福祉学科、柔道整復学科、はりきゅう学科は前年度より合格率が上昇した。                   |
| 退学率の低減が図られているか                        | 2                            | 個々の学生の変化やつまづきを見逃さないよう問題生徒の個別対応の強化を図っているが、退学者数の低減にはまだまだ課題がある。          |
| 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか            | 3                            | 就職ガイダンスでの説明や実習指導において、卒業生の協力を得ることで、業界で活躍している情報を在校生に周知し、学習意欲の向上に役立っている。 |
| 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 2                            | 卒業生へのフォローについては課題があり、リカレント教育についても、十分な方向性を示せていない。                       |

#### ①課題

退学率の低減については、学校の次年度に取り組むべき最重要課題と位置付けており、新たな施策を行っていく。

#### ②今後の改善策

令和5年度から、学習支援課を新設し、学力の向上、学力不振者への対応を強化していく。

#### (5) 学生支援

| 評価項目                                    | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1 |   |
|---|------------------------------|---|
| 進路・就職に関する支援体制を整備されているか                  | 4                            | キャリア支援課の職員が担任と連携した支援体制を整備している。校内での就職ガイダンスの開催、将来のキャリア形成を目的とした授業等により支援している。 |
| 学生相談に関する体制は整備されているか                     | 3                            | 学生からの相談はまず教務課が受け、相談内容に応じて、スクールカウンセラーや教員・教務課が対応している。                       |
| 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか                 | 3                            | 公的な奨学金の利用について案内をするなどの支援を行っているが、学校独自の奨学金の整備は行っていない。                        |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか                      | 3                            | 年1回の健康診断を実施している。担任が学生の健康管理についての指導を行っている。                                  |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか                   | 2                            | 課外活動には場所の提供は行っているが、金銭的な助成は行っていない。   |
| 学生の生活環境への支援は行われているか                     | 2                            | 遠方からの入学者が少ないため、学生寮の設置はしていない。  |
| 保護者と適切に連携しているか                          | 3                            | 学生の心理面や学校生活への不安等の問題に対し、担任が学生一人一人の状況に応じて面談を行っているが、必要に応じて保護者を交えて三者面談を行っている。 |
| 卒業生への支援体制はあるか                           | 2                            | 卒業生の就職相談には応じている。卒業生も受けられる研修を実施しており、有資格者としての技術向上を支援している。                   |
| 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか               | 3                            | 社会人の入学者も多く、社会人のニーズを踏まえたカリキュラムを策定している。                                     |
| 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 3                            | 高校でのガイダンス授業に加え、高校の要望に応え定期的に出張授業を実施している。                                   |

①課題

保護者との連携は三者面談だけでは十分と言えず、学校生活での情報共有のあり方には課題がある。

②今後の改善策

令和5年度は、保護者と連携する新たな仕組みを導入し、情報共有を進めながら適切な連携を図っていく。

(6)教育環境

| 評価項目                                       | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1 |   |
|--|------------------------------|---|
| 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できよう整備されているか            | 3                            | 施設基準は満たしており、かつ教室および共有区域などはスペースを確保している。ただし、備品の一部には使用年数がかなり経つものもあるため、教育上の支障がないよう、適時更新をしている。 |
| 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3                            | 学外において十分な実習施設を確保しているが、更なる拡充を進めていく   |
| 防災に対する体制は整備されているか                          | 3                            | 防災マニュアルを整備し、防災設備の点検を業者立ち合いのもと実施している。  |

①課題

防災に対する意識を、学生・教職員に向けてどのように高めていくかについて課題がある。

②今後の改善策

防災マニュアルの周知と防災訓練の実施により、意識向上を図っていく。

(7)学生の募集と受入れ

| 評価項目                           | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1 |  |
|--------------------------------|------------------------------|--|
| 学生募集活動は適正に行われているか              | 4                            | 募集方法や入学試験の実施の時期等については、関係機関等のルールを遵守し、適正に実施している。   |
| 学生募集活動において、教育効果は適切に適切に伝えられているか | 4                            | 学校案内パンフレット・募集要項の内容は毎年見直し、カリキュラム・特徴をより明確に周知している。学校説明会等において、教育方針、特色、入試形態、カリキュラム、学費や就職状況等を詳しく説明し適正に行っている。 |
| 学納金は妥当なものとなっているか               | 4                            | 学納金は、各分野の学納金水準は把握しており、同分野の他校と比較して、平均的な学納金の設定となっている。  |

①課題

学生募集に際しては、他校の状況を調査した上で、学納金の妥当性を判断している。

②今後の改善策

他校の状況と教育運営経費を精査した上で、学費の設定を適時見直しをしていく。

(8)財務

| 評価項目                     | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1 |   |
|--------------------------|------------------------------|---|
| 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4                            | 学生募集が良好で、定員充足率が向上しているが、経費の圧縮等により、財務基盤を安定させていく必要がある。 |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4                            | 予算作成に際して、理事長の査定を実施し、適切な予算管理を行っている。                  |
| 財務について会計監査が適正に行われているか    | 4                            | 会計監査を受け、理事会、評議員会、監事による事業報告と決算書の承認を得ている。             |
| 財務情報公開の体制整備はできているか       | 4                            | 学校のホームページで一般公開している。                                 |

①課題

財務基盤の安定化には、安定した入学者の確保だけでなく、退学者の抑制を図ることが重要である。加えて、経費の見直しや業務効率化による経費削減に努めていく必要がある。

②今後の改善策

入学者の安定的な確保とともに退学者抑制を図ることで、財政基盤の安定を目指していく。

(9)法令等の遵守

| 評価項目                           | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1 |  |
|--------------------------------|------------------------------|--|
| 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営がなされているか | 4                            | 専門学校の教育に関わる各種の法令及び専修学校設置基準、また、法令等の指定学科にあつてはその指定に関わる基準等を遵守し、適正な運営をしている。 |
| 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか     | 4                            | 個人情報保護規程を整備し、個人情報の保護に関する法律および関係する法令を遵守し、適正な取り扱いに努めている。                 |
| 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか          | 3                            | 関係する諸規程や委員会を定め、文部科学省のガイドライン項目に準拠して実施している。                              |
| 自己評価結果を公開しているか                 | 3                            | 学校のホームページ上で一般公開している。   |

①課題

学校ホームページにて教育活動等の掲載をしているが、情報公開の掲載方法には検討の余地がある。

②今後の改善策

教育情報の公開は実施できているが、学生および保護者等が望む公開内容であるかについては再検討が必要である。

(10)社会貢献・地域貢献

| 評価項目                            | 適切…4、ほぼ適切…3<br>やや不適切…2、不適切…1    |   |
|---------------------------------|---------------------------------|---|
|                                 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 2                                       |
| 学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか         | 2                               | ボランティアは奨励しているが、支援する体制は整備されていない          |
| 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか | 2                               | 東京都の職業訓練生の受託をしているが、地域に対する公開講座は開催をしていない。 |

①課題

ボランティア参加は将来の就業にも有益であると考えているが、学校としてボランティア参加に対する評価と支援する仕組みづくりには課題がある。

②今後の改善策

学校としてボランティア参加に対する評価と支援する仕組みづくりについて、関係機関や対象施設と協議を図っていく。